

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2023.12.No316

12月号

## 目次

第45回(一社)北海道建築士会 全道大会(北空知大会)を終えて	1
特集 第45回 全道大会 「北空知大会」	2
住宅フェア出展報告	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

## 第45回(一社)北海道建築士会全道大会(北空知大会)を終えて

第45回一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長  
北空知支部 支部長 川田 昌宏



第45回(一社)北海道建築士会全道大会(北空知大会)を無事に終えることが出来ました。全道各支部からの多数の会員の皆様をはじめ、全国各地の建築士会会長、並びに多くのご来賓のご臨席を賜り、盛大に開催できたことに心より感謝申し上げます。

また、北空知支部での開催決定後、開催準備にご尽力頂いた、本部事務局役員、各委員会役員、そして実行委員会の皆様にはお忙しい中本当にありがとうございました。

前日の沼田町の青年サミットでは「つなぐ、つながる建築士会」のテーマで開催され、受付での様子を見ながら、会員同士の横のつながりの広さを感じ、懇親会は大いに盛り上がっていました。

分科会は3会場で開催され、それぞれ活発な議論がなされました。参加者の今後の活躍の一助になることを期待しています。

基調講演には、深川市出身の独立時計師、菊野昌宏氏にお越し頂き、独立時計師を志すに至る経過、モチベーションの維持、ものづくりの楽しさ素晴らしさなど、建築にも通ずるものがあり、大変興味深く拝聴することが出来ました。



その後の懇親会では会場が埋まるほどの多くの参加を頂き、各支部からのお土産が並ぶ中、雄大な和太鼓の演奏で始まりました。力強い演奏の後、参加者同士、お酒をつぎあい、語り合い、笑い合う姿を

見る事が出来ました。大会後、和太鼓のある演者の方から「なんだか楽しかったです」、ある参加者からは「温かみのある素晴らしい大会でした」との言葉をかけられ、リモートでは無い、対面でのコミュニケーションの重要性を再認識することが出来たと感じています。



最後になりますが、人手不足、物価高騰、残業規制など、建築業界の環境も厳しさを増しているなか、会員相互の横のつながりを強く、情報共有を円滑にして、各地域で必要不可欠である建築技術の維持発展のために活躍してもらいようお願いすると共に、全ての大会参加者に感謝を申し上げ大会終了の挨拶といたします。





青年サミット①



A分科会①



応急危険度判定・机上訓練体験コーナー①



応急危険度判定・机上訓練体験コーナー②



B分科会①



C分科会①



青年サミット②



A分科会②



青年サミット会場 沼田町  
ほろしん温泉ほたる館



深川市役所新庁舎  
見学会会場



B分科会②



C分科会②



深川市役所新庁舎見学会①



A分科会③



大会受付ほか会場  
ラ・カンパニニューホテル深川



受付①



B分科会③



C分科会③



深川市役所新庁舎見学会②



A分科会④



大会式典・基調講演会場  
深川市文化交流ホールみ・らい



受付②



B分科会④



C分科会④

PHOTO GALLERY  
 第45回  
 全道大会  
 「北空知大会」  
 開催日  
 2023年  
 9月2日



大会式典①



大会式典②



大会式典③



基調講演



懇親会

See You Next Year!  
 令和6年(2024年)9月28日  
 第46回全道大会(日高大会)  
 いざ、  
 新ひだか町へ

## A分科会

「新田舎暮らしは暮らしやすいまち」

女性委員会 副委員長

鈴木 彩恵 (札幌支部)



A分科会は、「新田舎暮らしは暮らしやすいまち」をキーワードに、深川市に移住された方々のお話から、自分にとって「暮らしやすいまち」と感じるのはどのような環境かを考え、北海道の魅力、地域の魅力を再発見できるような機会になればとの思いから、企画が立ちあがりました。また、「住みたい田舎」ランキングで常に上位に位置する深川市の取り組みを聞く事で、それぞれの地域で活用できる何かを持ち帰られれば、との思いもありました。

コメンテーターは深川市移住者の方や行政の方など9名に及びました。移住者の方々には、移住までの経緯や決め手となった事柄をお話いただきました。深川市役所地域振興課のご担当者には、YouTubeによるオンライン移住ツアーなどをご紹介いただきました。全参加者25名が向かい合って座った事で、座談会に近い形になり積極的な発言が多く、時間に納まらない程の活発な意見交換も見られ、盛況のうちに終了しました。



全員で記念撮影

## B分科会

『北空知で学ぶ、エコなまちづくり』

まちづくり委員会 委員長

清水 浩史 (札幌支部)



B分科会では、道内でも有数の豪雪地帯で厳しい寒さにも見舞われる北空知地域で行われている、地域の特色を活かしたエコでサステイナブルなまちづくりを、リレートーク形式で学びました。

まず、深川市役所庁舎建設推進室の大槻様から深川市役所新庁舎のZEBの取組について、次に、深川市の(株)森栄建設 代表取締役 森下様から、先進的な賃貸住宅でのZEHの取組について、続いて、北竜町企画振興課 南波様から、地域資源として磨き上げられてきた「ひまわりのまちづくり」について、最後に、北海学園大学工学部教授 岡本様から、沼田町において学生たちと地域とのつながりを大事にしながら取り組まれている「空き家リノベーションプロジェクト」について、それぞれからお話をいただき、その後、会場からの質疑応答を行いました。

このB分科会を通して、サステイナブルなまちづくりを進めるために、地域の特性や課題をしっかりと捉えることの重要性や、厳しい条件の中でも様々な工夫をしながら前向きに取り組むためのヒントなど、多くの学びをいただきました。講師の皆様、貴重なお話をありがとうございました。

なお、参加人数は56名でした。ご参加された皆様、誠にありがとうございました。

## C分科会

『雪と共生するまちづくり』

青年委員会 委員

浅田 康詞 (富良野支部)



C分科会は講演と現地見学を行い、講演のテーマは『雪と共生するまちづくり』です。

沼田町は、豊かな自然風土に恵まれた地域ですが、積雪量の多い豪雪地帯で、雪を克服する事が課題となっていました。このことから、沼田町は雪と共生するまちづくりを目指して、平成14年に「輝け雪のまち宣言」をし、雪の利活用を積極的に推進してまいりました。C分科会の講演では、沼田町役場農業推進課の伊藤 勲様に講師をしていただき、「利雪」という観点から、雪をエネルギーとして利用する活動について説明をしていただきました。具体的には雪を夏まで保存しておき、その冷気や溶けて出来た冷たい水を農産物の冷蔵や室内の冷房に活用する取り組みとなります。自然エネルギーは再生可能エネルギーであるとともに、資源に限りのある化石燃料の削減、二酸化炭素排出量の削減となり、地球温暖化の抑制にもつながります。これまで沼田町にある様々な施設や学校などで貯雪した雪を雪冷房として活用されております。

現地見学では実際に雪の活用をしている「雪の科学館」を視察しました。雪の科学館は貯雪した雪を利用した大型冷蔵庫であり、農作物の保存や隣接している生涯学習総合センター「ゆめっくる」の冷房として活用されております。

今回このような貴重な話を聞くことができ、また多くの方と意見交換をする事ができました。雪という再生エネルギーの活用は北海道に住む私たちの地域でも共通して取り組む事ができる大きな可能性を秘めた事業であり、我々建築士はこれらのことを今後、それぞれの分野で生かし、持続可能な建築やまちづくりに貢献していきたいと考えております。

## ミニ机上訓練

応急危険度判定の目的

災害対応委員会 委員長

金谷 祐 (小樽支部)



建築物の安全性を確保する第一義的責任を有するのは、個々の建築物所有者ですが、地震の発生によって多くの建築物が被害を受けた場合には必ずしも被災建築物の安全性を所有者自らの責任で確保できる余裕がなく、多くの人々が二次災害に遭う恐れが十分に考えられます。特に、被災建築物が道路や隣家に影響を及ぼす恐れのある場合には、新たな被害が及ぶ可能性が高くなります。

そのため、応急危険度判定は被災建築物の危険性を判定し、その判定に基づいて当該建築物の使用の可否を建築物所有者等に情報提供し、二次災害の発生を防止することを主な目的としています。

もう1つの目的は、被災程度が少なく安全と判断された住宅の居住者等に、安心して避難所から自宅に戻れるよう情報を提供することです。

災害対応委員会では、全道大会開催の場で応急危険度判定についての周知活動を行っています。建築技術者が職能を十分に活かし、地域の安全に貢献できる活動の情報提供を今後も行っていきます。

## 基調講演

テーマ：私の時計作り

情報委員会 委員

菊野 隆昌（旭川支部）



講師である菊野氏は開催地である深川市の出身で、日本でも数名しかいない独立時計師として、活躍されている方で、日本人3名を含む16か国34名が所属しているAHCI（独立時計師アカデミー）の正会員であり、世界的な見本市への出展などで活躍をされています。

日本では、時計をつくることのできる時計師ではなく、修理ができる時計師が求められており、時計を作る方法を教えてくれるところはないそうです。そのような状況にあっても時計を製作したことが認められ、見本市へ出展することにより、独立時計師としての活動が軌道に乗っていったことなど、その苦労や活動について、製作された時計の写真等を見ながらお話をいただきました。

時計づくりの企画から設計・製作まで一人ですべてをこなすことは、大変な努力と作業かと思いますが、我々建築士の仕事にも通じるものが多々あり、興味深い内容でした。

菊野氏は、「大人はひとりではものは作れない」ことに子供のころに気づいたと述べていました。確かに建築もそれ以外の仕事も、一人で全てを完結させることは難しい仕事だと思います。それを時計という繊細な世界で、全てを一人で担うことができる魅力のある仕事だと、感銘を受けました。

## 青年サミット

青年サミットを終えて

青年委員会 道北ブロック長

宮沢 勝（北空知支部）



本年度、全道大会（北空知大会）の「前哨戦」としてコロナ禍以降初めて制限のない青年サミットを開催することができました。青年サミットテーマを「つなぐ、つながる建築士会」と題し、青年委員の交流と強い結束を目標に開催しました。

サミットには80名弱の方に参加いただき、また多くの来賓の方々にもご出席いただきました。

私は本部青年委員として2期目4年目となりますが1期目の2年間はコロナによって事業がほとんど行われず、2期目になりようやく少しずつ事業を開催することができるようになりました。

今大会は私が所属する北空知支部の開催ということもあり、本部青年委員としてまた、北空知の役員として、C分科会、青年サミットを担当し、これまでにない緊張感と責任を感じながら多くの皆様のお力をお借りしながら力不足ではありましたが、無事開催することができました。サミットは沼田町幌新温泉ほたる館で開催し、参加いただいたほとんどの方に2次会参加と宿泊をしていただき、普段なかなかお会いすることのできない多くの仲間たちとたくさん語り合い、テーマの通りつながることができたのではないかと思います。このつながりを大事に今後も活動していきたいと思っています。

## 深川市役所新庁舎見学会

「市民に親しまれ利用しやすい庁舎」

情報委員会 委員

境谷 香奈（恵庭支部）



全道各地で、庁舎の改築が行われている中、全道大会北空知大会の開催日に合わせて完成したような、「深川市役所新庁舎」を供用前に見学することができました。大会が始まる前の朝10時から1時間ほど、約70名の方が見学しました。

「市民にたしなまれ利用しやすい庁舎」「人に優しいユニバーサルデザインを徹底した庁舎」「災害に強い安心・安全な庁舎」「環境に優しい空知初のZEB庁舎」と4つのコンセプトを掲げ地上4階建、鉄筋コンクリート構造、一部プレストレストコンクリート造、延床面積6,515.35㎡の建物が建てられました。

利用者の多い窓口を低層階に配置し、段差解消やゆとりある通路幅を確保し、各室出入口の多く引き戸にするなど、工夫されていました。内装には、深川産の白樺を多く使用しており、議場からは、深川市内を見渡せる開放的な空間でした。



深川市役所外見



議場



深川市  
ゆるキャラ  
こめっち

## 実行委員会

はじめての全道大会

総務部会

小松 純（北空知支部）



この度、北空知支部ではじめて全道大会を開催させていただきました。本来であれば、令和4年度に第46回の全道大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、網走大会が中止となり、今年度、第45回の全道大会を開催する運びとなりました。

開催が一年先送りとなったことにより、深川市役所新庁舎の開庁時期と、全道大会の開催時期が同じ時期になり、特別プログラムとして見学会を実施させていただくことができました。たくさんの方に見学いただき企画した立場としてありがたく感じています。

基調講演では深川市出身の独立時計師 菊野昌宏様に、ものづくりをテーマにご講演いただき会員みなさまからたくさんのご質問がありました。また、懇親会では全道各地の支部からお土産をお持ちいただき、会を盛り上げていただきました。

会員の少ない支部で全道大会を開催できたのは、多くの会員みなさまにご参加いただき、また、道本部役員、地元支部役員・会員にご協力いただけたおかげと感謝しています。今後、様々な地域で全道大会が開催されることを楽しみにしています。

## ほっかいどう住宅フェア2023出展報告

青年委員会 副委員長  
吉田 徹 (札幌支部)



2023年9月16日、17日にアブラ札幌市北3条広場、北海道庁赤レンガ庁舎前庭にて開催されました「ほっかいどう住宅フェア2023」に北海道建築士会としてブースを出展いたしましたのでご報告させていただきます。

「ほっかいどう住宅フェア」は、住宅関連の団体や企業が集まり、家づくりに関する様々な取組や製品などを広く一般の方々にPRするためのイベントです。

我々、青年委員会では、2日目を担当し、以前より様々な場で活用しているブラウザアプリ「Web版パズルでお家を考えよう！」を用いて設計のお仕事体験を実施いたしました。

お子さんを中心に多くの方に体験をして頂き楽しんでいただきました。下は4歳ぐらいのお子さんから大学生まで様々な年齢層の子供たちが夢中になって家づくりを行っておりました。中には1時間近く考えながら取り組んでいた方もいらっしゃいました。

完成した作品も子供ならではの柔軟で自由な視点で考えられ、どの作品もストーリー性のある内容になっており作業中、様々なことを考えてパーツを配置していたことが伺える内容となっていました。

純粹なまなざしで住まいを考えている光景を見ただけで「設計」の楽しさを共に味わうことが出来ました。

なお、イベントで体験して完成した方の人数は17名でした。

今回のイベントで「Web版パズルでお家を考えよう！」は、操作性が非常にシンプルで直観的なので、パソコンでのマウス操作のみならずスマホやタブレットでの指での操作も行えるので、小さなお子さんから大人まで誰もが楽しんでできる事を再認識いたしました。

今後も、建築業界の魅力を伝える為、このような活動を続けていきますのでご協力、お願いいたします。



↑ 出展ブース



Web版 ↑  
「パズルでお家を考えよう」

## ほっかいどう住宅フェア

災害対応委員会 副委員長  
瀬尾 正宣 (後志支部)



ほっかいどう住宅フェア「くらしと住まいの2デイズ」が9月16日と17日の2日間、北海道庁前赤レンガプラザにて開催されました。

建築士会として1ブース出店し、災害対応委員会は1日目を担当しました。建築士による応急危険度判定活動を周知することが目的です。

会場では災害対策の冊子を配布、ブース内に応急判定ステッカーやポスターを掲示し、ヘルメットなどの防災グッズ、非常食やトイレ等の衛生グッズを展示し、「チャレンジ・ザ・判定士」と題して疑似応急危険度判定コーナーを設けました。災害模型や写真を見ながら委員が説明し判定してもらいましたが、難しいとかなるほどという意見や、被災した場合の対応や対策についての質問もあり防災意識を高める良いきっかけになったのではと感じました。

配布する防災グッズも早々

に無くなり周知をするという目的は果たせたかと思えます。

今後の課題ですが、住宅フェアなので若い来場者が多かったのですが、災害対応ブースに立ち寄る方は年配者が多かった事です。幅広い世代に対応した企画展開を委員会で検討することにします。

最後に会員の皆様へお願いです。応急危険度判定士の講習や机上訓練が各地で開催されております。是非受講し認定申請をして下さい。新規はもちろんですが期限切れや未登録の方もいますのでご確認ください。簡単なアンケートで被災地応急支援ネットワークに登録することもできます。建築士としての社会貢献活動にご協力ください。詳しくは北海道建築士会ホームページをご覧ください。



会場の様子



ブースの展示と担当した委員

## 札幌支部

## 円山動物園「こども動物園」の魅力UPプロジェクト

事務局長

小町 美穂



札幌支部では「札幌市円山動物園を魅力的にするプロジェクト」を動物園の職員の方と企画・実施しています。円山動物園はニュースなどでも聞こえていると思いますが、準間接飼育（飼育員が檻に入らず飼育する方法）でゾウの体調の管理をしていて、この取組みでアジアゾウが出産するのは日本で初めてと言われていいます。赤ちゃんゾウが生まれシロクマのリラのおなかにも赤ちゃんがいる可能性が有ることが分かりとても賑わっています。このプロジェクトは、私がボランティアガイドを始めた事がきっかけで園の職員の方から「園の職員は動物に特化しているが動物を飼育するための箱（建物や柵など）ものが劣化している補修などが出来ない悩みがあり建築に特化している建築士会札幌支部に協力をお願い出来ないか」と言うところからスタートしました。園からの提案は数個あり第3弾まで行いました。



第1弾 ポニーの放牧場の柵のペンキ塗

第2弾 こども動物園内の花壇作り

第3弾 モルモットが快適に過せる空間デザインコンペ

第1弾ではコロナも落ち着いた頃ではありましたがイベント開催が久しぶりででしたので不安もありましたが、動物園に登録している北大生のボランティ

アさんや園に来園した方にも参加していただきました。

最後にはポニーの飼育員さんの話を聞いてポニーに餌やりをして無事終わることが出来ました。



第2弾の花壇作り

は、こども動物園に位置する部分で木の根が地盤面からひょこひょこ出ている箇所があり来園したお子さんが木の根に脚を引っかけて転ぶことの多い箇所でした。その場所に花壇を作成し芝を植える予定でまずは園にある古材を利用し花壇を作成する企画となりました。賛助会員さんの(株)丸大建産さんにお世話になりこちらも無事に終わることが出来ました。



第3弾はモルモットが快適に過せる空間デザイン

コンペです。札幌市内の学生に向けてのコンペを企画しました。17作品の応募が有り、現在1次審査が終わり最終審査の準備中です。詳細は同封する「街」札幌支部発行をご覧ください。



札幌支部の取組みに興味のある方はご一報ください。通常入れない場所など入れる特典付きです!!

## 遠軽支部

## よろしく申し上げます

支部長

井上 隆広



今年から支部長となりました井上です。

前任の高橋支部長のご逝去により引き継ぐことになりました。

思えば、高橋さんにはとてもお世話になりました。

もう30年ほど前からなるでしょうか、高橋さんが青年部長の時、道東ブロック会議、全道大会、青年サミットなどに参加させてもらい、全道各地、時には全国の仲間と交流し、いろんな人と知り合えたことが自分にとって大きな財産となっています。

ただ、こんなにお世話になったのに、高橋さんが支部長になってからは支部活動を任せきりになってしまい、力になれなかったことが今になって心残りです。

そういえば先日部屋の片付けをしていたら、入会当時から総会資料や打ち合わせ資料が出てきました。

平成5年度の総会資料を見ると、会員は96名で現在の約3倍の人数でした。

また、平成9年には道東ブロック青年サミットが

遠軽で開催（40名参加）、平成10年には高橋さんが講師を務めたCAD講習会や会員5名が各教科の講師となって2級建築士受験準備講習会の実施、さらには、当時の福祉センター大ホールでビールパーティーを開催しています。

そして、平成16年には北海道家庭学校の礼拝堂を実測して図面を作成するというのもやりました。

記憶がだいぶ薄れていますが、昔はいろいろやっていたことを思い出しました。

遠軽支部は、遠軽町、湧別町、佐呂間町の3町の会員で構成されていますが、ここ数年、引退する方などもおり会員数が減ってしまい、危機感も感じています。

もともと、活動らしきものができていない中、新型コロナウイルスの流行により、総会さえも開催することができず、会員同士が会う機会がなくなっていました。

また、3町の会員が顔を合わせることも今まではありませんでしたが、コロナも5類移行ということで、ようやく以前の生活に戻りつつあり、今後はそういう機会を増やすことから始めていきたいと思えます。

## 道士会の動き

### 本部の主な会議報告 (11月)

- ◆第2回まちづくり委員会  
(開催日) 11日(土)  
1) 令和6年事業計画・実行予算案  
2) その他
- ◆第5回女性委員会小委員会 (Web併用)  
(開催日) 14日(火)  
1) 今期を振り返って  
2) 来年度の活動
- ◆第3回事業委員会  
(開催日) 18日(土)  
1) 令和5年事業報告(10月末)及び収支決算見込み  
2) 令和6年事業計画(案)及び収支予算(案)  
3) 令和5年「北海道建築士会特別活動費」活動事業報告  
4) その他
- ◆第3回青年委員会  
(開催日) 25日(土)  
1) 令和5年事業報告  
2) 令和6年事業計画(案)  
3) 令和6年事業予算(案)  
4) その他(令和6年連絡会議・集い)
- ◆第2回災害対応委員会  
(開催日) 25日(土)  
1) 令和6年事業計画  
2) ネットワークの登録者増強と整備  
3) 各自治体と支部の協定締結推進  
4) その他

### 本部の主な行事予定 (12月)

- ◆総務・企画委員会  
(開催日) 1日(金)
- ◆第3回情報委員会  
(開催日) 2日(土)
- ◆四役会議  
(開催日) 7日(木)
- ◆正副会長会議・第4回理事会  
(開催日) 15日(金)

### 関係機関等会議参加予定 (12月)

- 4日(月) 東北ブロック会(秋田)  
12日(火) 建築士会CPDプログラム評議会(東京)  
上記 高野会長

## 講習会・セミナーのご案内 (12月)

### 監理技術者講習

6日(水) 札幌市

### 応急危険度判定士認定講習会

6日(水) 旭川市 7日(木) 帯広市 8日(金) 稚内市

## 編集後記

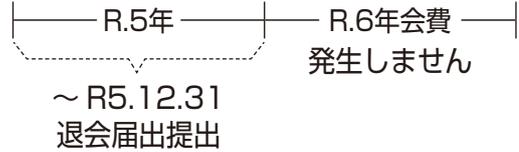
今月は北空知大会の記事が満載です。主催そして参加者の方々の熱い想いが伝わってきます。私も大会に参加しました。体が一つなので、大会で同時に行われた分科会等に参加できなかったことは残念です。しかし、今回の記事や写真を見て、各イベントに参加した気分を味わうことができました。これも大会に参加したことで実感できるのかもしれません。

来年は、日高大会が予定されています。地元ならではの趣向を凝らした大会になるでしょう。新ひだか町で一泊し、大会や街を楽しみたいと今から思っています。

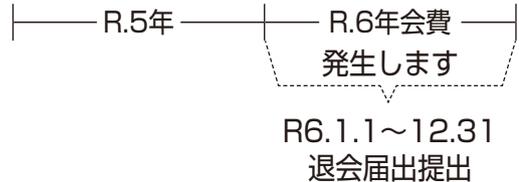
情報委員会 今村 敏彦(札幌支部)

## 令和6年会費関係スケジュール

【令和5年12月31日迄に退会届提出の場合】



【令和6年1月1日以降に退会届提出の場合】



令和6年会費請求を11月中旬に郵送いたしました。本会の会費は、年会費(1月~12月)の一括納付(会費規則第2条1項)令和6年3月31日迄となっております。

年の途中で退会された場合でも1年分の会費が発生いたします。都合によりやむを得ず退会される場合、12月31日迄に退会届を所属支部へご提出をお願いいたします。

※会費の滞納が続きますと会誌の発行、会員としての特典が停止されます。

## CPD認定プログラム(11月認定)

### ◆2023建築塗装セミナー2023~耐火被覆~

《日程及び会場》12月15日(金)

18:30~19:30 カナモトホール(札幌市)

《単位数》1単位

《問合せ先》

(一社)北海道建築士会札幌支部 TEL 011-232-1843

## “会員専用ページ”でオンデマンド配信中!



■視聴方法: 北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■12月パスワード: Chi038

情報委員会委員長/森 勝利

副委員長/前田 繁・立花智亜喜

委員/今村 敏彦・境谷 香奈・角張 隆昌

村山 賢司・徳留 裕敏

## 北海道建築士 No.316号

印刷 令和5年11月/発行 令和5年12月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地 大五ビル

電話 (011) 251-6076番

URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎

〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目

電話 (011) 811-7151番